

▽ 追立 祐嗣 教授 OITATE, Masatsugu



学 科： 英米言語文化学科

担当科目： 基礎演習 I・II、卒業論文 I・II、英文法 II、  
英米文学概論、アメリカ文学史、  
米文学特殊研究 I・II (大学院)  
英米小説特論 I・II (大学院)

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ① 1981年、琉球大学法文学部文学科英文学専攻卒業  
1988年、ジョージア大学大学院英文学科修士課程修了
- ② 文学修士
- ③ 日本アメリカ文学会、九州アメリカ文学会、日本英文学会、日本英文学会九州支部、黒人研究会の会、多民族研究学会、沖縄外国文学会、沖縄アメリカ文学会
- ④ 2000年～2002年、沖縄外国文学会事務局長  
2004年～、黒人研究会の会総務  
2005年～、多民族研究学会編集委員  
2005年11月、南島文化市民講座「文学から見た沖縄の戦後60年」講師  
2006年～、大学基準協会評価委員  
2010年6月、黒人研究会第56回全国大会実行委員長

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 基礎演習 I・II	毎年度	1, 200字前後の小レポートを毎回提出・添削を行い、最終的には10, 000字程度の小論文を仕上げ、注・参考文献の作り方を学ばせている。レポート集として製本する場合もある。2011年度はSAを採用し、よりきめ細かな添削指導が行えるようになった。

2) 卒業論文 I・II	毎年度	テーマ設定、資料収集、中間発表、草稿執筆、添削などの作業を通して、大学4年間の学問的集大成としての卒業論文を完成させている。2011年度はTAを採用し、よりきめ細かな助言や指導が行えるようになった。
3) 英米文学概論	毎年度	登録学生数は70名を超えるが、いわゆる「講義形式」の授業ではなく、グループ発表に基づくディスカッション形式を取り入れ、学生と教員、また学生同士で議論を深める「双方向型」の授業を行っている。
4) アメリカ文学史	毎年度	登録学生数は30名～50名であるが、いわゆる「講義形式」の授業ではなく、グループ発表に基づくディスカッション形式を取り入れ、学生と教員、また学生同士で議論を深める「双方向型」の授業を行っている。また、2011年度はTAを採用し、よりきめ細かな助言や指導が行えるようになった。
5) 論文審査	ほぼ毎年	文学・言語・教育の分野に関する修士論文の審査をほぼ毎年行っている。
2. 作成した教科書、教材、参考書		特になし。
3. 学生支援活動 1) 学習支援	毎年度	基礎演習 I・II の担当者として、入学前オリエンテーションを実施し、履修ガイドに沿って、卒業までの単位取得方法、学生生活などについて指導を行っている。

2)生活支援	毎年度	基礎演習Ⅰ・Ⅱ及び卒業論文Ⅰ・Ⅱの担当者(アカデミックアドバイザー)として、オフィスアワーを週1回設けているが、その他の時間でも、事前に電子メールなどで予約を受け付け、随時指導を行っている。
3)キャリア支援	毎年度	卒業論文Ⅰ・Ⅱの担当者(アカデミックアドバイザー)として、オフィスアワーを週1回設けているが、その他の時間でも、事前に電子メールなどで予約を受け付け、随時指導を行っている。また、教育実習期間には研究授業の参観のため、実習先の中学校・高等学校を訪問している。
4)サークル・部活動	毎年度	男女バドミントン部の顧問を務め、部活動のサポートを行っている。
4. 学外での教育活動		特になし。
5. 教育改善活動(FDなど)		
1)授業評価アンケート	毎年度	大学所定の授業評価アンケートを毎学期、ほぼ全ての担当科目で行っている。
2)FD研修会への参加	毎年度	可能な限り参加している。
3)授業改善計画書の提出	2011年度	2011年度は基礎演習Ⅰ・Ⅱが指定科目になっているため、本年度の実績に基づき、年度末までに授業改善計画書を作成することになっている
4)その他、教育改善活動	2006年度～現在	FD委員会委員、大学院等委員会委員

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

『黒人研究の世界』(共著、青磁書房、2004年)

「Richard Wright's *Native Son*における『炉』の象徴性」(沖縄国際大学外国語研究第7巻第1号)

「リチャード・ライト『地下に潜った男』における水と光の象徴的役割(黒人研究No. 73)

「Richard Wright の *Native Son*における『社会正義』と Bigger Thomas の反応」(九州アメリカ文学No. 43)

「アメリカ黒人文学と現代沖縄文学に見られる類似性—二重意識、土着性のシンボル、死者との語りを中心に—」(沖縄国際大学外国語研究第9巻第2号)

「*Native Son*における社会正義と Bigger Thomas の反応に関する再考」(沖縄国際大学外国語研究第13巻第2号)

**研究分野**

アフリカ系アメリカ人の文学

**【Eメール・ホームページ等】**

oitate@okiu.ac.jp

平成 23 年 10 月 7 日現在